

Pick Up News ラグビーW杯で盛り上がった10~11月。多くが日本代表、世界各国代表のトップレベルのプレーに魅せられました。私もその一人でした。時期を重ねてイギリス、スコットランドに行っていました。行く先々で「日本はすごいなあ」と本場の方々に言われ何とも誇らしげでした。何が私たちを惹きつけたのか。4年間その瞬間のために積み重ねてきた努力の跡、光る一人ひとりの個性とチームプレー、厳しい練習の上にある確固たる自信などではないでしょうか。大学での建築の学び(東北工大建築学科の教育)にも通じます。自信は厳しい日々の鍛錬(授業と演習)からしか生まれません。建築は一人で造るものではなく、多くの専門、職種がONE TEAMになって創り上げるものです。一人ひとりの個性がそのチームを輝かせます。目標や夢の設定なしに日々の鍛錬はできないし長続きもしません。改めて自分の夢を見つめ目標を定めてみてください!



中原大学からの3名の短期留学生在が建築学科で学んでいます!

中原大学(台湾)からも3名の留学生在が建築学科に来ています。11月4日から2か月間の予定で主に設計の学習をしています。11/5には好例の歓迎会も開催され、本学の留学生在、建築学科学生を交えての交流も行われました。台湾の大学の建築教育は5年間。今回は卒業設計に取り組む5年生が来ています。本学科とは10年を超えて交流が継続しています。

中原大学(台湾)に留学中の本学科学生4名のからのレポートは建築学科ホームページに掲載中。留学生活の様子わかります。

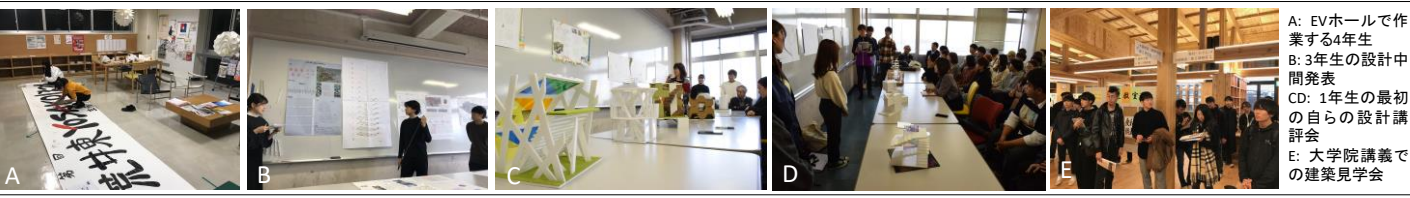


建築学科HP 留学報告Vol. 5 留学報告Vol. 4



卒業論文中間発表(各系にて実施中, 卒業設計は11/27に)

建築学科では、卒業論文および卒業設計の中間発表を4年生全員が行うこととしています。中間発表は、計画・歴史・意匠・構造・材料・生産・環境・設備および卒業設計の6系に分かれてそれぞれで実施します。11/21には建築計画系研究室(石井・新井・不破)による中間発表が開催されました。3年生も聴講しました。研究の進め方やその進捗状況には差はあるものの、取り組んでいる研究テーマとその背景、手法などについて各題5分で発表されました。1月下旬の提出、2月上旬の発表を見据えて、これからが本番。4年間の大学での学びの集大成ともなる「研修」です。悔いの残らないように、必死に取り組んで欲しいと思います。



A: EVホールで作業する4年生
B: 3年生の設計中間発表
C: 1年生の最初の自らの設計講評会
D: 大学院講義での建築見学会

【予告: 12/19(木)3年生およびM1生】

今年も開催! 建築学科主催の企業OBOG交流会!

建築学科独自の企画として実施している建設関連企業に勤務するOBOGとの交流会。今年も開催します。12月19日、仙台駅前アエルにて。3年生とM1生は出席必須の重要イベントです。進路の相談など、活躍する先輩方とできる貴重な機会。70社以上、150名以上のOBOGほかの参加が見込まれています。



企業OBOG交流会(昨年の様子)

Pick Up Lab. 大石研究室は、建物を利用する人々の行動や心理的な評価を扱う環境心理・生理分野の研究を行っています。

この研究分野では、建物を利用する人間側から環境を評価するという視点が特徴で、アンケート調査や行動観察調査などの研究方法による調査研究に取り組めます。2019年9月に新しくできた研究室で、1期生となる3年生10名と週1回のゼミを行っています。来年度の卒業研究の準備として、メンバー全員で大学キャンパス内の環境を対象としたアンケート調査を企画中です。研究室活動とおとして、環境と人との相互の関連の理解し、良好な建築環境を創り出す技術者の育成を目指しています。



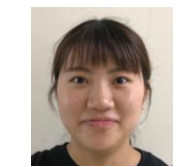
大石研究室1期生のメンバー

ゼミ風景



3年 高森 秀真 くん
仙台南 高校 出身

Pick Up Student 大学受験に失敗し、自分がなぜここにいるのか分からないまま2年生まで過ごしてきました。そんな私にも転機がありました。つまらないと感じていた授業で偶然前の席に座ったとき、先生が大事なことを言っていることに気付いたのです。それから私は、授業がつまらないのは吸収する自分ができていないからだと考えようになりました。授業は自分で勉強するためのヒントを得るための場であり、受け身で受けていても何も得られません。大学の勉強は自分の関心を掘り下げるところからスタートすると思います。幸い私は、自分の関心のあることを見つけることができました。研究室配属も決まり、これから自分のやりたいことが深く勉強できるのでとても楽しみです。



1年 宮 ころろ さん
盛岡第三 高校 出身

Pick Up Student 私は普通科の高校から入学してきて、建築に関して何も知らない状態で勉強し始めましたが、前期を無事に終えることが出来ました。そんな中で、私が一番建築学科を実感するのは、後期から始まった設計の課題です。一からものを作る難しさや楽しさが分かったし、他の人の作品を見たり先生方の話を聞いたりすることで自分にはなかった色々なアイデアを知り、建築の面白さを感じました。何が正解か分からない中で何度も試行錯誤を繰り返して設計するのは、苦労もありますがとても有意義な時間だと思っています。これからは、もっと建築の学習を深められるように頑張りたいし、将来に繋げられたらいいなと思っています。